

## 第20期 議会改革検討委員会 検討経緯について（案）

### 1. 検討中の事項

#### ○議会基本条例について

- ・有識者ヒアリング（平成30年7月31日）  
江藤俊昭山梨学院大学教授  
「議会基本条例と大都市議会に求められる将来像」
- ・有識者ヒアリング（平成30年11月26日）  
吉田利宏元衆議院法制局参事  
「議会基本条例と大都市議会に求められる将来像」
- ・吉田利宏氏にアドバイザーを委嘱（令和2年1月29日）
- ・吉田利宏氏を含めた意見交換を4回実施（資料1）  
議会基本条例の意義、構成イメージ、議論の進め方等
- ・他道府県の規定等に関する調査を実施

### 2. 検討経緯について

- ・参考資料「議会改革検討委員会経緯」参照

## 議会基本条例に関するアドバイザーとの意見交換について

## ＜アドバイザー＞

元衆議院法制局参事 吉田 利宏 氏

(任期：令和2年2月1日～令和3年7月22日)

## ＜意見交換の実績＞

- ① 令和元年11月25日 第15回打合せ ※アドバイザー就任前
- ② 令和2年 6月10日 第18回打合せ
- ③ 令和2年10月 7日 第19回打合せ
- ④ 令和2年12月22日 第20回打合せ

## ＜意見交換の主な内容＞

- 議会基本条例の基本的な性格
  - ・ 議会基本条例は、議会が自発的に定める任意的な条例
  - ・ 基本的に、議会や議員の役割、住民と議会との関係、議会運営の方針、議会改革などを定める。
- 議会基本条例制定の意義
  - ・ 対議会内。議会改革を後戻りさせない。議会として標榜する価値を、現在の議会のみならず、これからの議会に対しても影響を及ぼしていく。
  - ・ 対執行機関。条例にて強化の方針を示すことで、執行機関と交渉していく際の後ろ盾になる。
  - ・ 対市民。議会として果たす役割を住民に約束する。
- 大規模議会としての議会基本条例の課題
  - ・ 住民の声を聴く難しさ。まずは提供する情報の質や量を高めること。
  - ・ 政策立案の難しさ。平場での議論は難しいため、会派が政策形成の面でも「踊り場として」さらに力を発揮。
  - ・ 議会運営システムのオープン化。クラシカルな自治体議会をベースにした例規構造や組織に係る改革の着手
  - ・ 都議会の議会基本条例。網羅的でボリュームあるものにならざるを得ないが、どうアクセントをつけるか。制定の理由についても、都議会の実情に応じた必要性が重要。
- 議会基本条例制定に係る議論の進め方
  - ・ 議会基本条例のストーリーを決めて議論をしていくことが重要
  - ・ 都議会にふさわしいストーリーが必要。キーワードは、議事機関、議決責任、多様性。

## ○議会改革検討委員会経緯(令和元年11月25日以前は既に議長報告済のため省略)

日時	会議等	内容
令和元年11月25日	第15回 打合会	・吉田利宏氏との意見交換を実施
令和元年12月17日	第16回 打合会	・検討項目について論点整理
令和2年1月29日	第17回 打合会	<<合意項目>> ・以下の事項について合意 ・吉田利宏氏を議会基本条例に関するアドバイザーとして委嘱することを委員会に諮ること ・「会議時間の見直し」について、新規検討項目とすることを委員会に諮ること ・前回(第16回)打合会における合意事項の確認 ① 「東京都議会の災害時応急体制に関する要綱」改正について持ち回りにて了承を得ること ② 幼児ルームの利用拡大に関し、今後のスケジュール及び運用等を事務局で検討することを委員会に報告すること
	第10回 検討委員会	<<検討項目>> ・令和1年11月25日に行った議会改革検討委員会打合会委員と有識者(吉田利宏氏)との意見交換の報告 ・以下の事項を決定 ・吉田利宏氏を議会基本条例に関するアドバイザーとして委嘱すること ・議会改革検討委員会において、「会議時間の見直し」を検討項目に追加すること
令和2年6月10日	第18回 打合会	<<検討項目>> ・「議会基本条例」について、吉田利宏氏と意見交換 ・会議時間についての調査報告 ・常任委員会におけるペーパーレス化について、次回以降検討することを決定
令和2年10月7日	第19回 打合会	<<検討項目>> ・「議会基本条例」について、吉田利宏氏と意見交換 ・常任委員会におけるペーパーレス化について、論点整理
令和2年12月22日	第20回 打合会	<<検討項目>> ・「議会基本条例」について、吉田利宏氏と意見交換